

令和4年11月25日

秋田しらかみ看護学院
学院長 田口牧子 様

学校関係者評価委員会委員長

学校関係者評価委員会報告

令和4年度「学校関係者評価」について、下記の通り評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員会 委員

委員長 1名
委員 2名

2 学校関係者評価委員会審議日程

第1回	令和4年	7月11日(月)	自己点検・自己評価の送付・審議
第2回	令和4年	7月20日(水)	自己点検・自己評価の評価・提出
第3回	令和4年	11月25日(金)	学校関係者評価報告

3 学校関係者評価委員会報告

別紙の通り

学校関係者評価一覧(2022年度実施結果)

I 教育理念・教育目的

4.0	<ul style="list-style-type: none">・建学の精神(1~5)でかかげる教育理念は大いに評価できる。・畏敬の念に立ち、アドミッションポリシーを明確にすることにより、受け入れ側も入学を希望する学生もこれを意識し、目標に向かって進んでいくことができる。・新入生アンケートで、9割の学生がおおむね理解している。と回答しているとの結果であることから、適切と言える。今後理解力の低い学生の心を揺さぶるような具体的な表現も必要か。
-----	---

II 教育課程

4.0	<ul style="list-style-type: none">・平成16年からシラバスを作成し、現在も教育内容が明示され素晴らしいと思う。大いに評価する。・新カリキュラム検討会議を26回も重ねて開催し、研究・検討を続け、カリキュラムポリシー、カリキュラムデザインを決定したことは大いに評価できる。・綿密に組まれていると思うので、適切と思う。
-----	---

III 教育活動・教育指導のあり方

4.0	<ul style="list-style-type: none">・平成28年度からの教育理念、カリキュラムポリシー等の見直しは、大変評価できる。・学生のアンケートから、DVDや資料を使つての授業、学生の意見を取り入れた授業の進め方、グループ単位での演習で知識が深まったことが分かる。まだまだコロナの影響が続く中、オンライン授業に慣れることが大切と思われる。・コロナ禍2年目、教育活動、指導が予定通り行えない状況の中、オンライン授業を取り入れたり、教員の工夫により、学生に沿った授業を行っていた様子がアンケートからも読み取れる。・国試全員合格を目標に、一丸となって取り組んでいることは、特に評価できる。
-----	---

IV 組織・管理運営

3.7	<ul style="list-style-type: none">・組織・管理運営は見える化されており、適切と感じる。・学院の目標達成のための教職員の人数は充分であるのか。・能代市や周辺町村から校舎・駐車場整備の助成金を得るなど、地域の学院として組織が充分機能している。
-----	--

V 学生生活への支援

3.7	<ul style="list-style-type: none">・学生への支援組織は明示されており、学校全体の適切な支援像がうかがえる。・学納金、預り金、延納・分納についても細やかな配慮がされており適切。・奨学金・アルバイト等の経済支援、就職説明会の開催を行っている。・心身ともに健康管理もしっかりしている。・看護の道を志し、学びたい人への奨学金支援がもう少し充実、拡大できればと思う。
-----	---

VI 施設設備

3.7	<ul style="list-style-type: none">・図書館、学生寮の充実が評価できる。・Wi-Fi環境の整備強化、駐車場の整備などよりよい環境作りに意識して向上している。・新入学生のアンケートの結果、(9)本学院に希望することで、具体的な要望が記載されていたので、出来るだけ応えてあげられたらと思う。
-----	---

VII 学生の受け入れ

4.0	<ul style="list-style-type: none">・新入学生のアンケート結果を見ても、整った環境、合格率が評価されており、ホームページも充実している。学院の努力が十分評価されている。・学校まわり・説明会・その他の参加のスケジュールを見ると大変ハードで感心すると同時に心配にもなる。少子化で学生の受け入れの大変さがよくわかる。これを適切と言ってよいかどうか。・学校まわり、学校説明会など年間を通して積極的に学生確保に努力しており、高く評価する。・国試全員合格を目指す「しらかみモデル」を、より確実なものに高め、全面的にアピールして、入学希望者の心をつかんでほしい。・社会人や県外からの学生の受け入れについても、もう少し力を入れてもいいのか→(SNSでの発信など)
-----	---

VIII 卒業生の状況

4.0	<ul style="list-style-type: none">・卒業時アンケート結果を見ても、満足度が高く、特にコロナ禍での対応や教員のサポートは大いに評価する。・合格率・就職率は素晴らしいと思う。・国家試験を控えた学生と先生方のラストスパート、そしてその結果の素晴らしさには脱帽です。・殆どの卒業生が看護の道に進み、地元の医療機関に就職していることは、嬉しく思う。
-----	---

Ⅸ 社会への貢献

4.0	<ul style="list-style-type: none">・消防団への加入やボランティア参加を積極的に行っていることは社会貢献として評価につながっている。・「学生消防団」への入団。能代市と八峰町のコロナワクチン集団接種の介助をするなど地域社会の担い手として活躍している。・コロナ禍にあって、職員の方々は、新型コロナウイルスのワクチン接種に駆り出されるなど、社会へ貢献されていたが、学生は社会とつながる機会がそもそも少なかつたろうから、今年度は仕方ないと思う。
-----	--

X 研究・研修活動

3.3	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症による予防対策などの強化も評価。・今後の研修活動に期待。オンラインをフル活用。・日常の授業などで大変忙しいことと思う。そんな中で今はたまたまリモートでの研修も多いのではないかと察する。よりよい教育環境を目指す上でも是非研修・研究に励んでいただきたい。・前年同様、コロナ禍にあって学生の指導で時間が取れなかったと思う。
-----	--

その他

	<ul style="list-style-type: none">・今後の取り組みとして、地域との関わりに期待しています。・講師として学院の外での活動は、まさに地域創造への主体的参加だと思う。要請があれば積極的に受けて欲しい。
--	---